

コース
NO.7

「新日本歩く道紀行100選」認定～水辺の道～

県下最大級あびき湿原散策コース

最寄駅：北条鉄道 網引駅

播磨国風土記ゆかりの地コース

約6 km

一般向

約1時間45分
(休憩時間を除く)

所要時間の目安

北条鉄道
網引駅スタート

約25分

状覚山2号墳

約30分

あびき湿原

約30分

糠塚古墳

約20分

北条鉄道
網引駅ゴール

【問合先】
加西市観光案内所
(北条鉄道 北条町駅内)
TEL 0790-42-8823

コースガイド

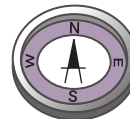
北条鉄道網引駅を出て左折し踏切を渡って南へ直進。万願寺川に架かる橋を渡り左折し播磨中央自転車道に沿って歩く。県道79号線が見えたら道なりに自転車道を右へ。途中緩やかな坂を上る道の頂上付近にハメ塚石棺仏があるので探してみよう。その坂の下には県道に向けて口をぽっかり開いた状覚山2号墳があるので車に充分気を付けて見学しよう。自転車道を南へ再び歩き南網引の交差点を左折し横断すると大師堂がある。道なりに歩くと住吉神社があり神社の池の近くの地蔵半跏像石棺仏(山裾南面している)を探してみよう。住吉神社前の道まで戻り右へ歩いて行くとあびき湿原の案内板があるので目指して歩こう。山道脇やあびき湿原は貴重な草花や昆虫がいるのでマナーを守って見学しよう。帰りは川の手前の道を右へ歩き村中へ。約10mの火の見櫓やおもっさんを過ぎると糠塚古墳が見える。県道79号線を右折し糠塚山を遠くに見ながら原橋を渡り横断し歩く。河童封じのお地藏さんと石棺がある方へ右折線路の近くを歩いて行くと網引駅へ到着。



糠塚古墳

イチオシ あびき湿原

あびき湿原は、加西市の重要な生態系に選ばれている県下最大級の湧水湿原です。ヒメタイコウチやハッチョウトンボ、サイコクヒメコウホネなど、非常に多くの絶滅危惧種の動植物が生息しています。この豊かな自然を子どもたちに伝えていくため、平成25年冬から地元住民やボランティアによる保全活動も活発に行われています。



糠塚山

播磨国風土記ゆかりの地

【糠塚山(めかつかやま)】
風土記の中で大汝命(おおなむじのみこと)が稲をついたとき、ヌカがこの岡に飛んできたことから「ぬかおか」と呼ばれたと伝えられており、周辺には古墳が複数発見されています。